



南中だより

No. 8 令和3年 1月7日

伊丹市立南中学校長 柳井 泰司

新年 あけまして おめでとうございます 本年も どうぞ よろしくお願ひ申しあげます

「1年の計は元旦にあり」

「改」



本年度もよろしくお願ひします。「漢字の日」は、その年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が12月14日に発表され、「密」が選ばれました。この日午後2時過ぎ、京都・清水寺で森清範貫主が縦150cm、横130cmの越前和紙に広島県産の熊野筆で力強く揮毫（きごう）されました。

私は一年を振り返り、2020年の漢字を「改」としました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、林間学校、トライやる・ウィーク、修学旅行、体育大会、文化祭等の学校行事が中止・代替行事となり、新しい生活様式を取り入れた学校生活が必要となりました。今後の学校教育は古きよきものは継承し、新しく取り入れる必要があるものは発想を豊かにし「改革」を実行していく必要性を感じました。

また、「笑う門には福来たる」ということわざがあります。いつも笑い声が溢れる家には、自然に幸運が訪れる。明るく朗らかにいれば幸せがやってくるという意味です。また、悲しいこと・苦しいことがあっても、希望を失わずにいれば幸せがやって来るといことです。今年1年「笑顔」を忘れずに、気持ちを穏やかにして過ごすことを心がけてください。

1年間の総まとめと来年度の学校運営に係る計画、学校評価を1月から進めていきます。今年度の教育活動を見直し、改善できる所は改善し、より良い教育活動が実践できるよう取り組みます。地域・保護者・学校の三者が繋がり合い、南中学校が今後も発展し、生徒の夢実現に向けて取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

みなさん、新年あけましておめでとうございます。3学期を迎え、皆さんの元気な顔を見ることができてうれしく思います。

今年の卒業式は3月11日です。修了式は3月25日にあります。

3年生は、この慣れ親しんだ南中学校を巣立ち、新たな場所での生活が始まります。また、1年生と2年生は、それぞれ進級して新たなクラスとなるとともに、新たな1年生を迎えます。

3学期には、毎年のこととは言いながら、「別れと出会い」があります。毎年繰り返すこの別れと新しい出会いの中で生まれる環境は、自分自身の毎日を鮮やかなものにしてくれます。

こんな言葉があります。

「別れは過去の記憶を思い出に変える力があり、出会いは未来を変える力がある」

尊敬すべき人との出会いは自分をより謙虚にし、守るべき出会いは自分をより勇敢にします。愛すべき人との出会いは自分をより優しくし、競い合える人との出会いは自分をより努力家にします。

3年生は、友だちや先生や後輩との残り少ない南中学校での生活をかみしめながら、そして新たな場所での夢や希望、新たな出会いを考えながら毎日を過ごしてほしいと思います。

3年生との別れとなる卒業式を、みんなですばらしい思い出深いものにしてください。

最後に、どの学年も有終の美が飾れるように、3学期の1日1日、1分1秒を大切にしてください。

以上で終わります。